

かわ さき
川 崎
まちづくり
ビジョン

まちづくり みんなが^{しゅわく}主役

かわ さき ちょう
川 崎 町



へいせい ねん がつ
平成 25 年 3 月

かわさき きょうぎ かい
川崎まちづくり協議会

はじめに

この度、川崎地域の将来（おおよそ10年後）の姿を企及した『川崎まちづくりビジョン』の完成にあたりご挨拶を申し上げます。

合併後、地域はどう変わり、どう進んだか。以前の良き伝統は守られているだろうか。議員の減少、自治区長制度の廃止などにより、地域を守り育て発展させる方策や将来像などを話し合う場が少なくなったのではないか。地域の将来を話し合う組織がないと一般的な報道や世論の中に埋没し、単なる評論者になってしまわないか等、元気な地域づくり事業を進める議論の中でみんなが考えるようになりました。

そこで、自分達で地域の将来を考え、話し合う場を作ることを目的に、川崎まちづくり協議会設立の機運が高まり川崎全域から参加者を募集したところ、当初20人位の予想が37人の入会希望があり、関心の深さに驚きました。平成23年3月1日に川崎公民館に於いて設立総会を開催し、現在に至っております。役員には9人の議員と2人の監事を選出し、会議は議会と全体会。議会では全体会に提案する協議案作り、全体会では提案に対する質問や意見、提言が話し合われました。それらを議会で整理し、新たな提案とその繰り返しで度重なる議論を行い、時間が経つのも忘れる事もありました。また、要所ごとに協議の状況を「かわちゃんアンテナ」で町民の方々に発信してきました。（7号まで発行済）

さらに将来を担う町内小中学校の児童・生徒のみなさんから夢や希望、10年後にどんな町になってほしいかなどアイデアの提案をいただき、計画に組み入れ、案をまとめ、町内全戸に配付。さらに、町民の方々のアンケート参加を得て、完成する事が出来ました。

ここに改めて会員の方々を始め、小中学生のみなさん、ご協力を賜りました町民の方々、事務局に心から感謝と御礼を申し上げます。

末筆ながら、いちのせき市民活動センターの方々のご指導ご助言に対し、会を代表して厚く御礼を申し上げご挨拶といたします。

平成25年3月

川崎まちづくり協議会

議長 伊藤 力

I かわさき 川崎まちづくりビジョンについて



1. はじめに

「川と共に生きる」を合言葉に、川崎村は河川改修により水害常襲地からの脱却が図られ、花火大会のほかEポート大会など水辺に人が集まる親水事業が盛んに行われました。また、北上大橋架け替えにより川崎村の街並みが大きく変貌し、道の駅の開業により多くの人々が川崎村に立ち寄り、交流が図られるなど、川崎村は様々な変革を遂げてきました。



そして、平成17年に近隣市町村と合併し、「ちゃっこい村」が「一関市内のちゃっこい川崎町」となりました。合併後、川崎中学校が新築されました。市役所川崎支所も新しくなる予定です。しかし、門崎保育園は平成23年度に閉園となりました。門崎小学校も薄衣小学校と統合して平成25年度に川崎小学校となり、門崎小学校は廃校となります。したがって、川崎町内には保育園、小学校、中学校が1つずつになります。

岩手県の人口予測では、平成22年と平成47年を比較すると、川崎町の人口は4割減の1,200人が減少し、2,800人になると予測されています。5人世帯が25年後には3人世帯になる計算です。

「限界集落」になっているかもしれない注1。私の家庭は、隣近所では…と考えると、現実味が増してきます。今はみんなで集まって楽しく活動していることが、将来は人口の減少により、規模の縮小や廃止など活動の見直しが必要になると考えられます。



そこで今、私たちは将来の川崎地域のために、川崎町に関わる多くの皆さんと共に「川崎まちづくりビジョン」を作成しました。私たちの今の活動が将来の川崎町につながる活動であるために。願い求める『希求』から、計画して到達する『企及』に意識を変えて、みんなの知恵と労力を出し合い地域課題に取り組むために、今から私たちができること、したいことを形にした、私たちの計画です。



注 1：65歳以上の高齢者が、人口比率で住民の50%を超えた集落のことを指し、大野晃氏が高知大学教授時代の1991年に最初に提唱した概念と言われています。

※ 1：ビジョン【vision】 将来の構想。展望。また、将来を見通す力。洞察力。

2. 計画の期間

川崎まちづくりビジョンの計画期間は平成25年度を初年度として、10年後の将来像実現のための計画です。しかし、社会情勢やニーズの変化を把握しながら、より良い川崎町となるために計画は随時見直しを行っていきます。

※ 2：ニーズ【needs】 必要。要求。需要。

II 基本構想



1. まちづくりの目標と将来像

子どもたちは、「川崎の豊かな自然環境を守り、笑顔がいつでもあふれている町であってほしい」と望んでいます。ムスツとした大人の表情から子どもの笑顔は生まれません。

そのために私たち大人は、いつも笑顔であり続けます。家族だけではありません。先輩として、ときには叱ることもあるけれど、川崎町に関わる全ての人が笑顔の輪を広げ、笑顔の町を作ります。

子どもたちに宣言します。

川崎まちづくりビジョンが目指すまちづくりの目標を

【輝く笑顔でみんな幸せ】と掲げ、

目標から描かれる将来像を

『しあわせが実感できるまちかわさき』

『みんながよろこんで住むまちかわさき』

『安心を発信するまちかわさき』として、

子どもたちが大人になったときに、私たち以上に「川崎が好き」と言ってくれるまちを目指して、私たちは笑顔でまちづくりに取り組んでいきます。

そして、その笑顔が人を呼び、訪れた人が住みたくなる町「川崎町」を作ります。

注2：平成24年2月23日～29日に川崎町内の小学5・6年生および川崎中学校生徒に実施した「児童生徒向けまちづくりビジョンアンケート」集計結果より

2. まちづくりビジョンの6本の柱

将来像実現のために、次の6本の柱の分野ごとに事業を区分して、事業に取り組んでいきます。

○コミュニティ

○子どもの健全育成・教育

○保健・医療・福祉

○安全・安心

○仕事・働く

○文化・歴史・自然・環境

※3：コミュニティ【community】居住地域を同じくし、利害をともにする共同社会。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきをもつ共同体。地域社会。

III 実施計画



1. 計画の基本方針

実施計画はまちづくりビジョンの6本の柱の分野ごとに、短期は3年以内、中期は5年程度、長期は10年と区分して表しています。

●コミュニティ

☆地域で自活できるようにみんなで支えるコミュニティづくりをするまちをつくる
 ・「隣は何をする人ぞ」これはしたくない！

	短期	中期	長期
ソフト面の事業として、各自治会で全ての災害対策を行う ※4			
①住民レベルで、自治会ハザードマップを作る ※5 ※6	住民・行政	継続・見直しが必要 →	
②地域住民情報を収集し、災害時に活用する	自治会	継続・見直しが必要 →	
③連絡体制を確立する	自治会・行政	継続・見直しが必要 →	
④誰でも逸早く理解できる系統図を作る	自治会・行政	継続・見直しが必要 →	
高齢になったときの備えを充実させる			
①見守る人(子どもの虐待も含む)、事業を作る (継続できるビジネスシステムの構築→普段の見守りと専門組織) ※7 ※8		住民・行政・支援企業	
②声かけシステムを作る			
地域で地域共通の防犯合言葉を作る	住民		
業者(郵便・新聞配達員など)と報告を受け人の連絡体制を作る	住民・業者		

※4：ソフト【software】《「ソフトウェア」の意》機器類を用いて行う物事の、情報・理論など無形の部分。

※5：レベル【level】段階。

※6：ハザードマップ【hazard map】災害予測図。一定の時間内に、ある地域に災害をもたらす自然現象が発生する確率を図にしたもの。

※7：ビジネス【business】仕事。職業。また、事業。商売。

※8：システム【system】制度。組織。体系。系統。また、方法。方式。

	短期	中期	長期
結いの仕組みを作る（自治会内での孤立を防ぐ）			
① 3世代で伝統活動の継承と新しい事業による交流を行う	住民	⇒事業化	
② 交流を目的とした集まる機会、サロンを作る ※9	継続		
若者のネットワークを作る			
① 川崎町内の若者ネットワークを作る	住民		
② 地域で頼れる存在に育てる	継続 住民・行政		
自治会の運営の見直しを行う			
① 部会の目的を明確にする	自治会		
② 他自治会との交流		○	
③ 全自治会で統一した取り組み項目を作る	自治会連 注3	完成	見直し
④ 再編・統合（充実した地域経営をするために）	検討	動く	完成
⑤ 分かり易い文章を作る	行政		
⑥ 行政を知るための仕組みを作る	自治会		

注 3：一関市川崎町自治会連絡協議会のこと

※9：サロン【salon】ヨーロッパ、特にフランスで、上流階級の婦人が、その邸宅の客間で開いた社交的な集まり。

☆しあわせに囲まれる子どもたちのまちをつくる
☆地域ぐるみで育ち育てるまちをつくる

	短期	中期	長期
見守り、子ども110番の連携 (子どもの目線で、地域で見守る)			
①子ども目線で見守り活動をする	※急務 顔の見える 付き合い		
②親と子どもが110番の家にあいさつに行く			
③地域の中で見守り隊をつくる			
子ども交流館(子ども村)を作る			住民・行政・NPO
①NPOなどによる送迎サービスも取り入れた事業を行う ※10			○
②子どもに教育活動を行う	NPO・ ※11 サークル ※12		
③様々な教育の組織と連携して、より良い環境を作る	話し合う	整合する	子ども村をつくる
病児保育、病後保育の仕組みを作る	手をあげる 声を上げる	形にする	儲かっている
①引退した保育士・教員中心のプロ集団を作る(場作り) ※13			
②子育て支援の体制作り(事業)	子育て中のママ・ 住民・NPO		

※10：サービス【service】 商売で、客をもてなすこと。また、顧客のためになされる種々の奉仕。
 ※11：NPO【Non Profit Organization】 営利を目的とせず公益的な市民活動を行う民間団体の総称。
 ※12：サークル【circle】 円。円形のもの。関心や趣味を同じくする人の集まり。同好会。
 ※13：プロ《「プロフェッショナル」の略》ある物事を職業として行い、それで生計を立てている人。本職。くろうと。

☆予防医療を充実させ、高齢者に役割をもってもらえるまちをつくる
 ☆コミュニケーション（はなしかだり）の場をつくろう！
※14

	短期	中期	長期
車が運転できなくても安心できる仕組みを作る			
① 買い物、移動、生活支援を行う組織を作る		住民有志	
② 買い物、移動、生活支援を行う組織のコーディネート、窓口を作る <small>※15</small>	社協 注4		
一生現役、一人一役を目指した仕組みを作る (喜ばれる・必要とされる)			
① 山学校（賑やかな場）を作る			住民
② 現役で働く (野菜作りなどできることで応援→交流の場)	住民		
医療の充実（予防医療）			
① 予防医療は検診率100%を目指す			住民

注4：社会福祉法人一関市社会福祉協議会川崎支部のこと

※14：コミュニケーション【communication】社会生活を営む人間が互いに意思や感情、思考を伝達し合うこと。
 言語・文字・身振りなどを媒介として行われる。

※15：コーディネート【coordinate】各部を調整し、全体をまとめること。

☆みんなで守り合う安全・安心のまちをつくる
☆災害に備え、防災教育を行うまちをつくる

	短期	中期	長期
ハザードマップを作る			
①危険個所を調査する	1年以内		
②危険個所解消のための行動を起こす	調査後直ちに		
③マップにまとめる(医療機関・街路灯も記載) ※16	2年以内 自治会ごと		
④見直しを行う		10年より早く	
⑤有事に地元に残る人で対応可能な仕組みをつくる	○		
災害教育・訓練を行う			
①地域に合わせた災害教育・訓練を行う	川崎町全体	○	見直し
②有事に地域限定で対応できる仕組みを作る	行政		
早急に連絡体制を構築する			
①行政・消防・民間・住民の連携体制をつくる	○		
②偏らない備蓄計画で、支援体制の輪をつくる	○		
水害についてデータ化する ※17			
①過去の水害をデータ化する	国のホームページ参照		
②今後起こりうる水害を想定する (降水量、降地点)	国からの 情報提供		
③ホームページに公開する ※18	○		

※16：マップ【map】地図。

※17：データ【data】コンピューターで、プログラムを使った処理の対象となる記号化・数字化された資料。

※18：ホームページ【homepage】ウェブサイトのトップ(最上位)のページ。またはウェブページ自体の総称。本来は、ブラウザを利用して閲覧する最初のウェブページのこと。

わたしたちの町は生涯現役 一人一役夢とロマンをもちながら楽しく働くまちをつくる
☆新たな産業を興し、ワンコインが流通するまちをつくる

	短期	中期	長期
人材バンクをつくる ※21			
①川崎版人材センター的組織をつくる (シルバーは「匠」、若者は「得意・特技」で登録) ※22 ※23			
希望者を養成する ※24	行政		
ソーシャルビジネスネットワーク化に取り組む ※25		NPO	
②知恵袋をメニュー化する ※26		NPO	
異業種交流の開催			
①若者の交流の場を作る	商工会議所 注5		
新たな産業を興す			
①川崎株式会社を作る			住民有志
住環境整備のための事業を行う (子育てしながら暮らせるまちをつくる)			
①子育て環境が整備された会社の事例を学ぶ	商工会議所		

注5：一関商工会議所川崎支所のこと

※19：ロマン【roman】感情的、理想的に物事をとらえること。夢や冒険などへの強いあこがれをもつこと。

※20：ワンコイン【one coin】100円、または500円など、一枚の硬貨。「ワンコインショップ」「ワンコインタクシー」のように、他の語と複合して、利用料が硬貨一枚ですむという意味で用いることが多い。

※21：バンク【bank】貴重なものを蓄えておく所。

※22：センター【center】その分野・部門の中心的役割をする機関や施設。

※23：シルバー【silver】多く複合語の形で用い、高齢者の、高齢者のための、の意を表す。

※24：ソーシャルビジネス【social business】環境・貧困などの社会的課題の解決を図るための取り組みを持続可能な事業として展開すること。

※25：ネットワーク【network】《網状組織の意》個々の人の繋がり。特に、情報の交換を行うグループ。

※26：メニュー【menu】物事の、予定されている項目。また、その内容。

☆歴史と文化を伝承し広い視野をもって世界へ羽ばたくまちをつくる
 ☆豊かな自然・環境を守る

	短期	中期	長期
川崎歴史文化ツアーを行う ※27			
① 地元の人が地元学を学ぶ	行政		
② 記録に残す		NPO	
③ 語り部を育てる		NPO	
④ 発信する			NPO
⑤ 観光業として取り組む			NPO
川崎の魅力を発信し、交流の輪を広げる			
① 川崎内外での積極的な活動により、活発な交流を展開する			NPO
② ホテルが飛び、メダカが泳ぐ豊かな自然を守り、その魅力を発信する（石蔵山星空観察会など）	川崎町全体		
国際交流の仕組みを作る			
① 国際社会が興味を引くまちをつくる			川崎町全体
発表会を行う			
① 川崎町文化祭、芸能発表会を継続する	芸文協・ 注6 公民館		
② 「芸のまち」に成長し、憧れの発表の地となる			川崎町全体

注6：川崎芸術文化協会のこと

※27：ツアー【tour】周遊。観光旅行。小旅行。

IV けいかく じつげん お 計画の実現に向けて



1. かわさき きょうぎかい 川崎まちづくり協議会は…

かわさき きょうぎかい じゅうみんみずか ちいき かだい かんが こうどう ちいき よさ
川崎まちづくり協議会は、住民自らが地域課題を考え行動することにより、地域の良さを
つぎ せだい けいしゅう あか す ゆた かわさき ちいき とくく
を次の世代に継承し、明るく、住みよい、豊かな川崎地域のまちづくりに取り組むことを
もくてき そしき
目的とした組織です。

これから かわさきちやう しょうらい おむ はな あ ば つね もう ひと ひと むす きがる
これからも川崎町の将来に向けた話し合いの場を常に設けて、人と人を結び、気軽に
さんか はな あ かつどう おこな
参加して話し合える活動を行っていきます。

2. じちかい 自治会は…

じちかい かつどう きほん たんい かわさきちやう おおむ ぜんせたい じちかい
自治会はコミュニティ活動の基本となる単位です。川崎町では概ね全世帯が自治会に
かにいん こうりゅう ちいき ほぜんかつどう かつぱつ とくく
加入し、会員の交流や地域の保全活動などに活発に取り組んでいます。

また、自治会が主な各団体を構成している点も川崎町の特徴です。

しょうし こうれいか じんこうげんしょう すず なか やくわり みなお こうりつてき かだいかいけつ ひつよう
しかし、少子高齢化・人口減少が進む中では役割の見直しや、効率的な課題解決が必要
なことから、これからは他の自治会や団体などと協力・連携も考えながら、ちいきかだい
とくく
取り組んでいきます。

3. かくだんたい 各団体は…

じょせいきょうぎかい たいいくきょうかい ろうじん しゅみ かくだんたい だんたい
女性協議会や体育協会・老人クラブ・NPO・趣味のサークルなど、各団体は団体の
もくてき たっせい さまざま かつどう おこな かくだんたい じゅうじつ かつどう
目的を達成するために様々な活動を行っています。これからも各団体は充実した活動を
おこな かつどう せっきよくてき ちいき はっしん おうえん きょうりよく え
行いながら、さらにその活動を積極的に地域に発信して、たくさんの応援や協力を得なが
ら、かわさきちやう いちよく にな かつどう おこな
ら、川崎町のまちづくりの一翼を担う活動を行っていきます。

4. こじん 個人は…

ちいき つな たいせつ じぶん はんい こうどう
地域との繋がりを大切にしながら、いつでも自分にできることを、できる範囲で行動し、
かわさきちやう すてき みらい えがお く
川崎町の素敵な未来のために、いつも笑顔で暮らしていきます。

おわりに



「まちづくりの^{しゅやく}主役」と言われ続けてきた^{わたし}私たちが、^{はじ}初めて^{じぶん}自分たちだけで
^{いち}一からまちづくりビジョンをつ^{つく}りました。他^{ほか}の行事^{ぎょうじ}との重複^{ちゆうふく}などで思うように人^{ひと}が集まら
ないときもありましたが、^{てさぐ}手探り^{なか}の中で^{いけん}多くの意見^{もと}を求め、^{しんちよくじょうきょう}進捗^{ちいき}状況を地域の^{みな}皆さんに
^{はっしん}発信しながら、^{いけん}意見を^つ積み重ね^{かさ}、^す摺り合せ^{あわ}ながら、^{かわさき}『川崎まちづくりビジョン』^{さくてい}を策定しま
した。

しかし、^{わたし}私たちの^{かつどう}活動はこれで^お終わりではありません。^{たいせつ}大切なことは^{じっこう}実行することです。
これからこの^{けいかく}計画に基づいて「^{すす}進み」「^{ふりかえ}振り返り」「^{みなお}見直し」を^く繰り返しながら、^{かわさきちょう}川崎町の
^{みらい}未来の^{こども}子供たちのために、^{つづ}まちづくりを^{おも}続けていきたくと思っています。

^{さいご}最後に、このまちづくりビジョン^{さくてい}策定の^と取り組みは^く一関市内では^{いちのせき}初めての^しことであり、
これから^た他地域の^{ちいき}皆さんが^{みな}取り組む^と際の^く参考^{さい}の^{さんこう}参考^{さいわ}になれば幸いです。



● 川崎中学校



● 4月からは川崎小学校

児童・生徒まちづくりビジョンアンケートの結果

(2012.2.23 ~ 2.29 実施)

Q1 ズバリ！10年後、「かわさき」がどんな町になってほしいですか？

薄衣小5年生(19名)

- みんな(子どもたち)が楽しめる(公園がある)町×4
- ゲームセンターのある町×3
- イオンみたいな買い物ができる町×3
- みんな(子どもからお年寄り)が安心してらせる町×2
- お年寄りにやさしい町×2
- なつかしみのあるにぎやかな町
- 住んでいて楽しい町
- 被害のないにぎやかな町
- 本の専門店がある町
- 花火大会が有名な町
- いろいろなお店のある町
- 道路でこけにくい町

薄衣小6年生(23名)

- 緑(環境)があふれるような(豊かな)町×7
- 安全安心で明るく元気(健康)な町×5
- ゴミなしきれいな町×2
- 皆がいつでもどこでも誰にでも安全安心温かくふれあえる町×2
- 助け合いがあって、みんなが楽しくなる町×2
- 幸せな町×2
- 町外の人たちも来やすい町
- 笑顔があり明るい町
- 接客態度がよい町
- 事故がなく平和な町
- みんなが安心して暮らせる町
- 笑顔が絶えない町
- 地元(川崎)に就職したい!と思えるような活気のある町
- 都会のようでもどこか田舎らしさが残っているような町
- 災害が起きててもすぐに避難ができるような町
- みんなが仲良くなれるような町

川崎中1年生(29名)

- 森と川が美しい(有名な)町×10
- 自然と文化の入り交じる総合的な町×3
- 活気・元気のある町×2
- 人々のつき合いが良い、明るく住みよい町×2
- 安全安心な町×2
- 伝統(花火)が守られているような町×2
- 世界へ誇れるような町
- 笑顔があふれる町
- 山々が連なり、川には魚が泳ぎ、空気がおいしい町
- ふと見ればだれかが笑っているような町
- 住む人が多く店がたくさんある町
- 子どもからお年寄り、障がい者の人達が仲良く暮らせる町
- 川崎にある大切なものがいつまでも残っている町
- ゴミのないきれいな町(分別も)
- 人助けをしているような町
- 立派な町
- 楽しく住めるような町
- 仙台みたいな町

門崎小5年生(12名)

- おじいさんやおばあさんも元気に楽しくらせるような町
- みんなが仲良く助け合って生活する町
- みんなが仲良く楽しくくらししていけるような町
- 緑が豊かな町
- ソーラーをたくさん使う町
- いろんなイベントがある町
- 自然な町
- 住みやすい有名な町
- 明るい町
- ゴミのないきれいな町
- 仲良しな町
- ゴミ拾いがさかんな町
- 今とかわらない町

門崎小6年生(19名)

- 自然がいっぱいでみんな健康でいられるような町×5
- 事故のない安全安心な町×4
- 元気でやさしさ、思いやりのある町×3
- たくさんのお店や人がいるような町×2
- 笑顔あふれる元気な町×2
- 活発で楽しい町×2
- 困った時すぐに病院にいける町
- 有名な町
- 今より活気があふれる町
- 今までどおりの町
- なつかしいふるさとが感じられる町
- 日本の食品が30%作られるような町
- 子ども、大人、お年寄りみんなが暮らしやすい町
- 住んでいて良かったと思えるような町

川崎中2年生(40名)

- 豊かな自然がある町(森と町がなじむ)×8
- 明るくて便利な町×5
- 他の地域から多くの人たちが来てくれるような町×4
- このまま平和で田舎の町×3
- みんなが集まれる平和な町×3
- (ディズニーランドのような)にぎわっている町×3
- 安全安心(犯罪・火事のない)の町×3
- 古き良さを残し、にぎわっている町×2
- ゲオとTSUTAYA、イオンがある町×2
- 平和で地域の人たちが仲の良い町×2
- 活気がある元気な町×2
- 都会的な町×2
- ヨーロッパみたいな町
- 独自の文化で有名になれるような町
- 素敵な町
- 伝統がしっかりと引き継がれている町
- 頑丈な町
- プロ野球チームができるような町
- 普通な町
- 100メートル間隔でコンビニがある町
- 快適な町
- おじいさんおばあさんに優しい町
- きれいな町
- 自然を活かした発電所のある町
- 過密している町
- 人口が増え、生活しやすい町
- おもしろい町
- 環境が良く住み心地がよい町
- 有名な町
- 過疎状態から抜けている町
- 近未来的な町

Q2

作戦！ アイディア！ 大募集！！ もっと良い「かわさき」にしていくために、
どんなことを？

薄衣小5年生 (19名)

- みんなで楽しめる遊具を増やす×3
- 遊園地や大きなプールをつくる×3
- 安いお金でカードゲームができる×2
- いろんな施設に車椅子を設置する×2
- 川崎のでっかい花火をもっと有名にする。
- 子どもが遊べる施設を作ってほしい。
- 大きな公園をつくる。(長いシーソーとか)
- お年寄りが楽しく観光できる町にする。
- 交通事故を起こさないようにする。
- パトロールの人を山の方にもやってほしい。
- 信号機をつけて、子どもやお年寄りが渡りやすくする。
- 普通の生活に必要なものを川崎で買えるようにする。
- みんなが楽しくふれあえるイベントをつくる。
- 世界で一番高いタワーをつくる。
- 金時まんじゅうの店をたくさんつくる。
- 安全に暮らせる町をつくる。 • お年寄りに優しくする
- 昔あったお城を復活させる。 • 本の専門店をつくる。

薄衣小6年生 (23名)

- 町のゴミ拾いを呼びかける×5
- 地域のボランティア活動を行う×3
- 川の清掃活動をする×3 • 環境を大切に×2
- みんなで楽しめるイベントをふやす×2
- みんなが明るくあいさつをする×2
- 電気屋とかスーパーマーケットをつくる×2
- 町内一斉であいさつ運動に取り組み、あいさつを活性化させる。
- 地域とのかかわりを持つために、川の楽校のような活動をたくさん行う。
- 市外の人たちも来やすい町にする。 • 店を増やす。
- 町の案内板を設置する。 • 意見交流の場を設ける。
- 町に植物を植えたりする。 • 図書館を大きくする。
- 子どもが明るく積極的になる。 • 俳句などの看板をつくる。
- いつまでも緑がきれいな町にする。
- 火事のないように注意を呼びかける。
- もっと明るい都会のような町にする。

川崎中1年生 (29名)

- ポイ捨てゼロ (看板・ポスターなど) ×10
- 「北上大橋」「花火大会」「Eポート大会」を思う存分PRする×6
- 水路や川の清浄化 (EMの使用) ×5
- 店、道路の整備×4 • 自然 (緑) を増やす×3
- イベント (スタンプラリーなど) をふやす×3
- 川崎の人々が笑顔になれるような行事 (伝統) をやる×3
- お年寄りにやさしく接する×2
- いっそのこと、会社も建てちゃう！
- 「はっとう、金時まんじゅう、花火、ドン太くん」をアピールする。
- 介護、福祉の充実 (高齢化対策)
- 小中学校がにぎわう工夫 (少子化対策)
- 町をきれいにする。 • 文化や歴史を知ってもらう。
- 森林に人の手を加えない。 • 掃除をしっかりする町にしたい。
- 動物が息できる場所をつくる。 • 釣り場をふやす。
- 進んだ科学技術を取り入れる。 • 高校をつくる。
- 公園の整備 (児童の健全育成のため)
- 川崎地域に住んでいる人に、川崎のアイディア料理を考えてもらい、それを「福福」や「宝介」などで出してもらおう。

門崎小5年生 (12名)

- ポイ捨てを止める×6
- おじいさん、おばあさんや大人たちと交流のできるイベントをつくる×4
- みんなで遊べる公園がほしい×2 • ゴミの仕分けをする。
- 自然にあふれた川崎にする。 • 門崎にお店をたてる。
- 町でみかけた人に挨拶や気遣いなどをやる。
- 誰でも座れるところをつくる。 • ボランティア活動を行う。

門崎小6年生 (19名)

- 門崎にも店やコンビニがほしい×5
- 自分からやさしくしたり、助けたりする×2
- 自然を大切に×2 • ルールを守ってともに仲良く暮らす×2
- ボランティア活動をたくさん計画する×2
- お年寄りや障がいを持った人たちが安心して使える施設があるといい。
- 「川崎といたらこれ！」というものがほしい。
- 農家が安心してお金が入るようにする。
- 農家が跡継ぎを見つけられるようにする。
- 学校などで体験学習を行い、農家の仕事を見学する。
- ごちゃごちゃしてない川崎にする。 • 大きな病院を建てる。
- 川を汚さない工夫や取り組みをする。 • 新しい木を植える。
- 建物をきれいにする。 • 川崎の歴史や特産物をPRする。
- 子どもが増える(ムリか…)。 • 門崎スタジアムがほしい。
- あいさつをもっとする。 • 犯罪防止の取り組み。
- 商店街を活性化させる。 • 町でやることをふやす。
- 公民館をきれいにする。 • 施設に歩いていける。

川崎中2年生 (40名)

- 町民みんなが参加できるイベント (花火、釣り大会、天王祭など) を増やす×10
- 空いている土地にイオンのような店を入れる×7
- 地域の人と交流する場面をつくる×5 • 森や木をふやす×3
- 自然を活かした町づくりをする×2 • スポーツを盛んにする×2
- ネットなどを利用し川崎を宣伝する×2
- 自然を守りつつ都会のようにしてたくさんの人を迎え入れる×2
- 門崎方面にコンビニがほしい×2 • 町の事業を増やす。
- 川崎の人口を増やす工夫をする。 • 新しい食べ物をつくる。
- でかい店をつくり、働く人をふやす。
- 人口が増えるように、アパート・マンションなどをつくる。
- お年寄りが長生きできるような楽しく、学べる場を設けてほしい。
- 街中(道路のわき)を植物や花できれいにする(図書館前のように)。
- 川崎のいいところをもっと多くの人に伝える。
- クリーンで自然と共存できるエネルギーを取り入れる。
- 他のところから来た人が泊まれるホテルがある。
- その道のプロの人などの講演会をひらく。
- 芸人などが来てライブなどできる大きな会館がほしい。
- 川崎の伝統を公の場で発表したり、それを学べる教室をつくったりする。 • マスコットキャラクターをつくる。
- 若者が楽しめるような施設がほしい。 • 今を大切に！
- 町全体を白と緑のイメージで。 • 高校ができてほしい。
- 川を流れる水をきれいにする。 • 街灯をふやす。
- 下水道の整備 • 動く道路 • 挨拶を誰にでもする。
- 川崎に地下都市ができる。 • 宇宙につながる階段
- 機械的だけど植物と共存している町 • ゴミを捨てない。
- たくさん店を建てる。 • 災害対策を強化する。
- ボランティアやエコ活動を行う。 • 川崎の地図が少ない。

Q3

今の「かわさき」でこれからもずっと守っていききたい「良いところ」「じまんできるところ」、または、「直していききたいところ」「変わってほしいところ」など、どんなことでもOKです。

薄衣小5年生(19名)

○良いところ、自慢できるところ

- ・「樹齢600年の笠松」×7
- ・「川崎花火大会」×5
- ・「金時まんじゅう」×4
- ・「道の駅」×4
- ・「もぐもぐの里」×3
- ・「北上大橋」×3
- ・「薄衣城跡地」×3
- ・「もくずがに」×2
- ・「川崎図書館」×2
- ・薄小の桜の木
- ・北上川

●直していききたいところ、変わってほしいところ

- ・なし

薄衣小6年生(23名)

○良いところ、自慢できるところ

- ・「川崎花火大会」×9
- ・「北上大橋」(町のシンボル)×4
- ・「緑と自然が豊かなこと」×3
- ・「川崎図書館」×3
- ・「人に温かいこと」×3
- ・「北上川」×2
- ・「金時まんじゅう」×2
- ・「川崎の伝統」
- ・人間関係がとて面白い
- ・人に親切なところ
- ・桜の木が多いこと
- ・かにぱっと
- ・みんなの笑顔
- ・格の進の肉
- ・みんなが町をそうじしている
- ・天王祭
- ・Eポート大会
- ・町民運動会
- ・コンビニ

●直していききたいところ、変わってほしいところ

- ・「音の出る信号にしてほしい」×2
- ・人と人がふれあえるようにしていく
- ・建物が増えたらいい
- ・北上川の汚れ
- ・ゴミが目立っている
- ・交通事故を減らす

川崎中1年生(19名)

○良いところ、自慢できるところ

- ・「川崎花火大会」(募金強化)×11
- ・「自然・緑・空気がきれい」×6
- ・「北上大橋」×3
- ・「町の人の明るさ・優しさ」×3
- ・「ホテル」×2
- ・「Eポート大会」×2
- ・「きれいな北上川」×2
- ・「町民運動会」×2
- ・「町民みんなが仲良し」×2
- ・「コンビニがある」×2
- ・伝統を守っている
- ・夏の星空がきれい
- ・ゆはずの船
- ・川崎体育館
- ・道の駅
- ・金時まんじゅう
- ・天王祭
- ・米がおいしい
- ・メダカ
- ・グラウンド

●直していききたいところ、変わってほしいところ

- ・「ゴミを捨てない、ゴミを見たら拾う」×4
- ・いつでもだれにでも挨拶ができるように
- ・少子化の脱却
- ・自然と都会のけじめをつける
- ・水害をなくする
- ・働く人ががんばれるように
- ・大型店の進出
- ・街灯を設置してほしい

門崎小5年生(12名)

○良いところ、自慢できるところ

- ・「布佐神楽」×8
- ・布佐洞窟
- ・渡り鳥の白鳥
- ・門崎小学校のゆりの木
- ・自然
- ・花火大会
- ・Eポート大会

●直していききたいところ、変わってほしいところ

- ・「町全体をきれいにする」×3
- ・「ポイ捨てをしない」×2
- ・ゴミを減らすこと
- ・石蔵山に登りやすくする
- ・道路のでこぼこ
- ・布佐洞窟の整備

門崎小6年生(19名)

○良いところ、自慢できるところ

- ・「自然がたくさん」×6
- ・「布佐神楽」×2
- ・あいさつが元気
- ・町民運動会
- ・物がいっぱいある
- ・かにぱっと
- ・ほどいも
- ・つるくび
- ・道の駅
- ・人の優しさが一番の魅力
- ・河崎の柵
- ・一部のにぎわい
- ・門崎小のゆりの木

●直していききたいところ、変わってほしいところ

- ・事件や事故が起きる
- ・イベントが少ない
- ・空気や木を大切に
- ・不審者を出さない
- ・門崎にもコンビニ
- ・障がい者にも便利な町に
- ・あいさつを直す
- ・道路のでこぼこ

川崎中2年生(19名)

○良いところ、自慢できるところ

- ・「川崎花火大会」×18
- ・「Eポート」×6
- ・「川崎の名物料理」×5
- ・「緑・空気がきれい」×5
- ・「町の人の笑顔・優しさ」×4
- ・「天王祭」×3
- ・「コンビニの数」×3
- ・「金時まんじゅう」×3
- ・「北上大橋」×2
- ・地域での交流
- ・みんなが夢を持っている
- ・永遠に平和
- ・水害が少なくなった
- ・布佐神楽
- ・町民体育祭
- ・テント市

●直していききたいところ、変わってほしいところ

- ・他の地域との交流が深める×2
- ・伝統の継承×2
- ・「ゴミへの考え方」×2
- ・「門崎方面の活性化」×2
- ・「大型店の進出」×2
- ・他地域の人たちに「もう一度行きたい」と思われるようになること。
- ・ずっと安心して過ごせる町に
- ・いつでもどこでもきれいな町に
- ・イベントを増やす
- ・人口の増加
- ・都会的にならない
- ・地下通路
- ・活気のある町に
- ・あいさつを交わす
- ・山間部のにぎわい
- ・協力して物事を行う。
- ・街灯の設置

川崎まちづくりビジョン(案)に関するアンケート調査結果

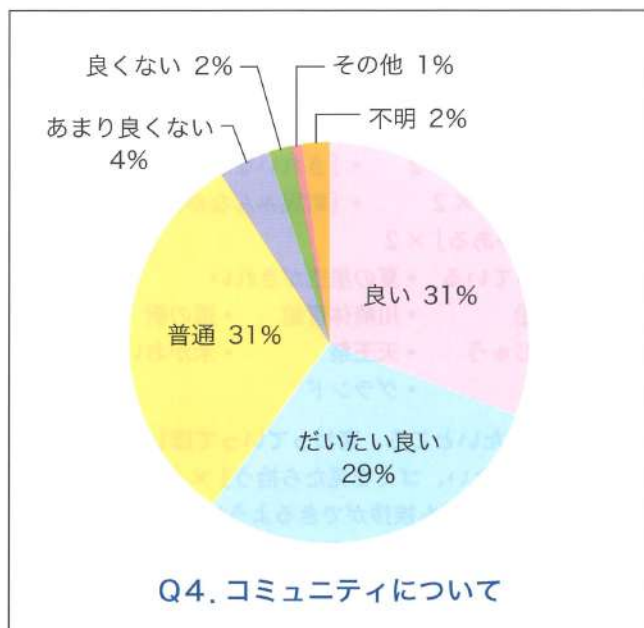
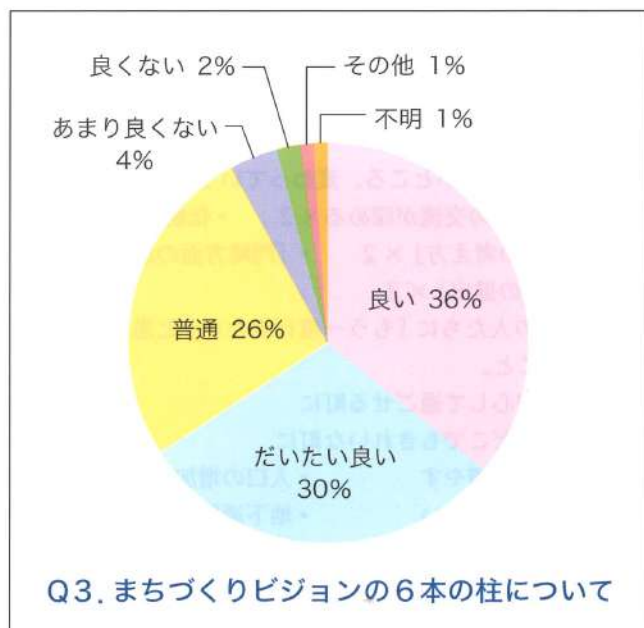
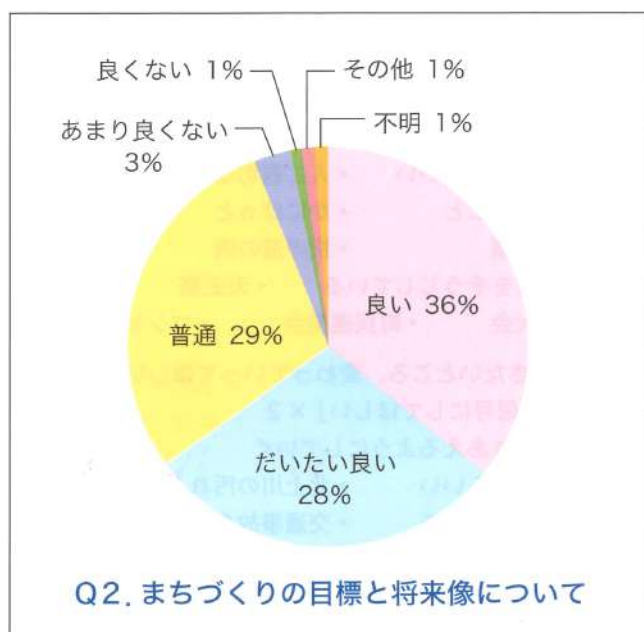
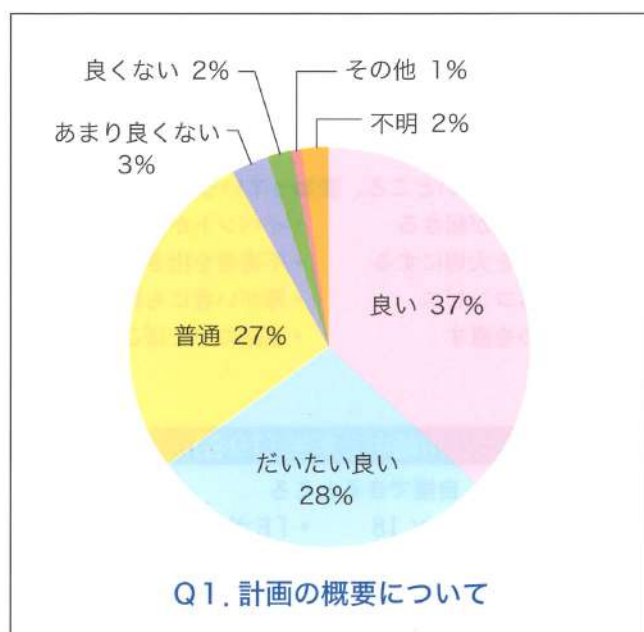
(2012.12.25 ~ 2013.1.21 実施)

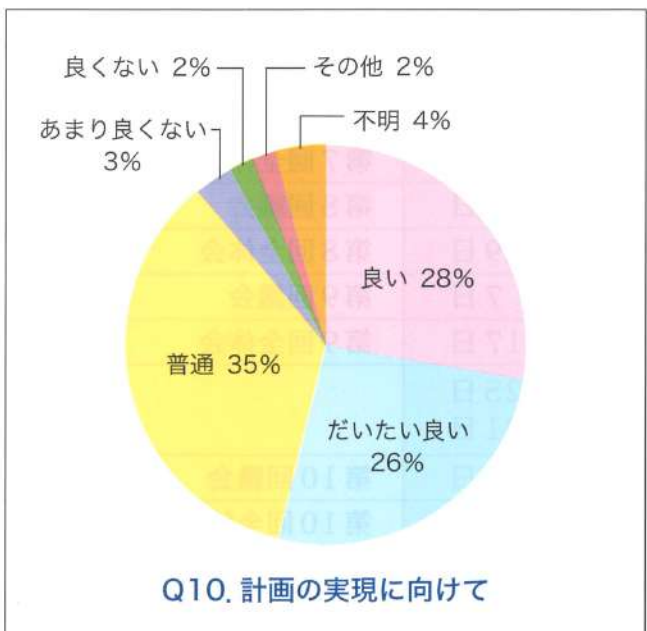
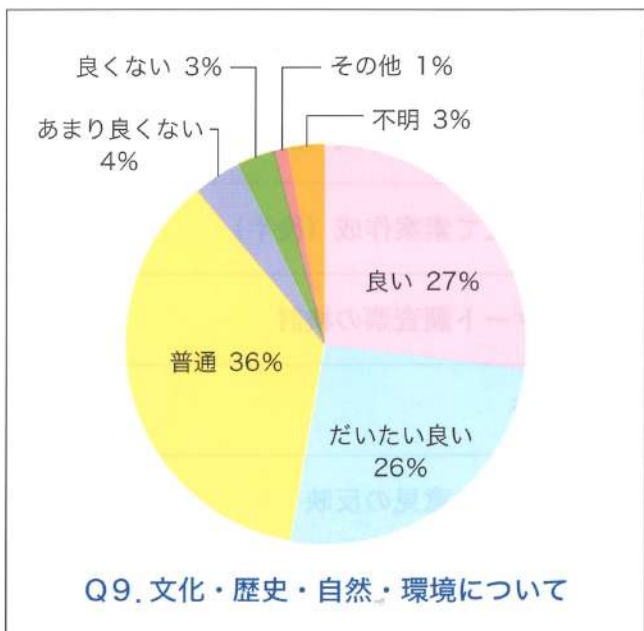
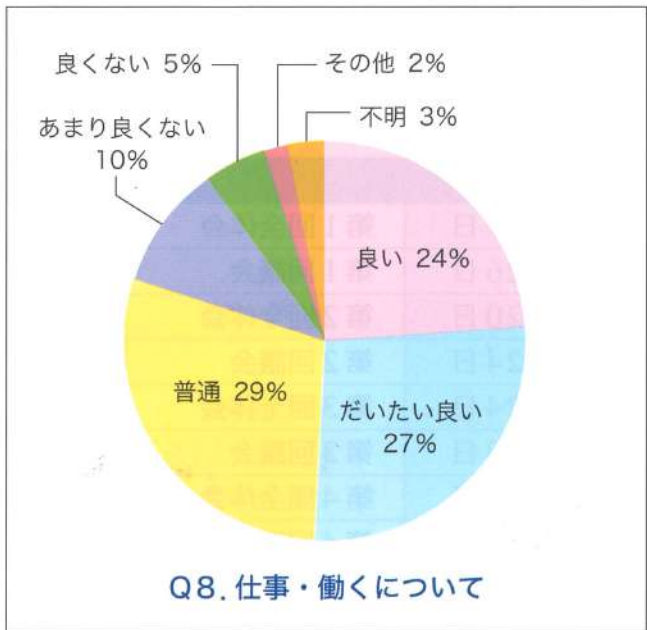
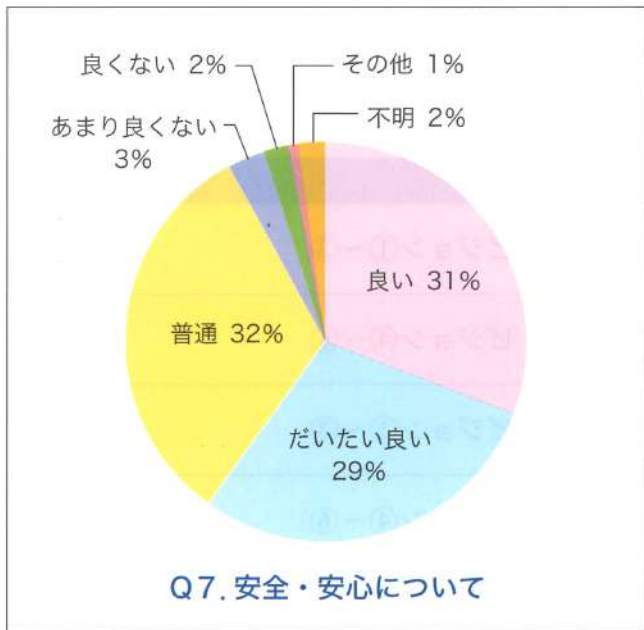
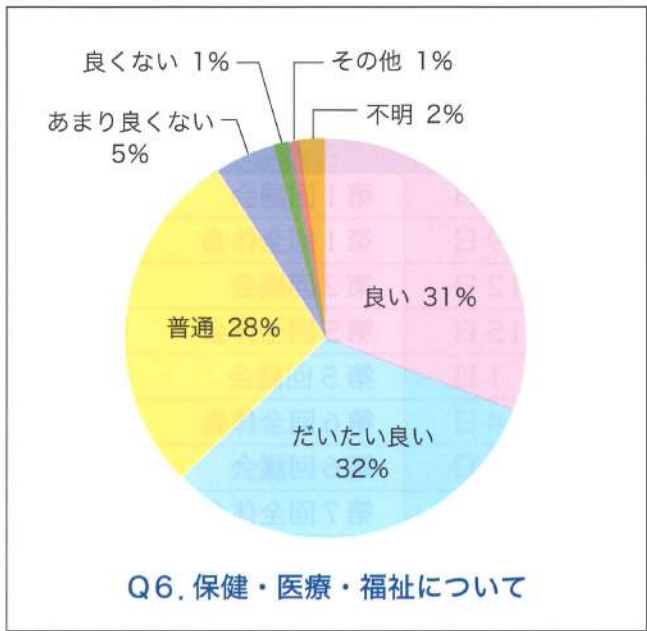
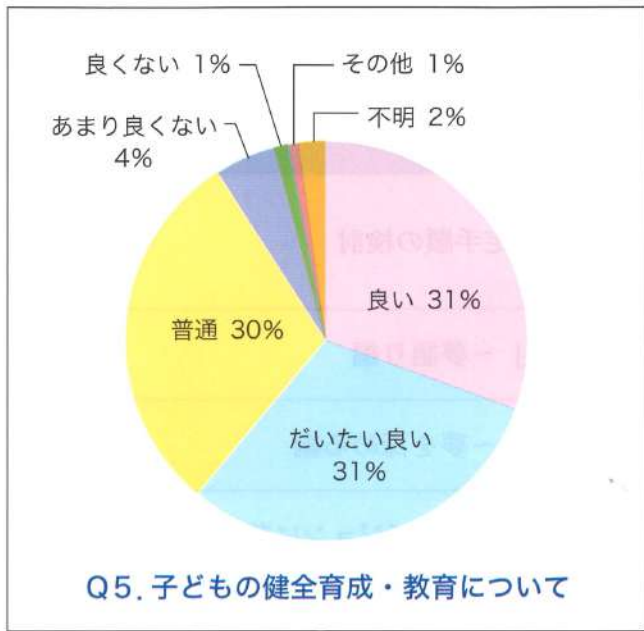
配布世帯数	1,212
参加世帯数	438
参加率	36.14

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
4	13	36	117	127	108	25	8

男	女	不明
283	127	28

※今回アンケートに回答していただいた方を「まちづくりへの参加者」ととらえ、「参加世帯」と表現しています。





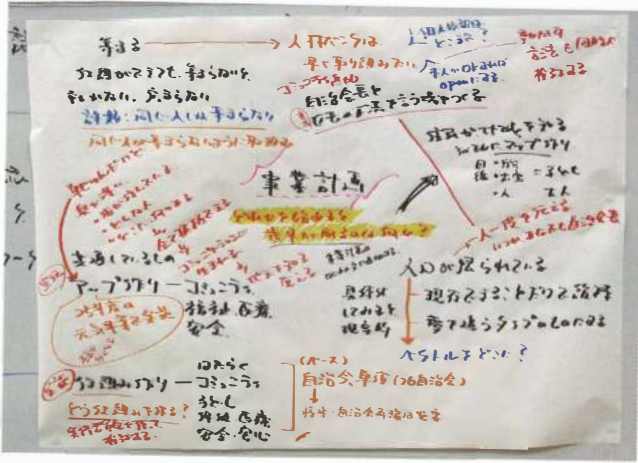
検討の経過

平成23年度

5月26日	第1回議会	ビジョン概要及び策定手順の検討
6月29日	第1回全体会	
7月12日	第2回議会	
11月15日	第5回全体会	「将来の川崎町の姿」～夢語り編
12月1日	第5回議会	
12月14日	第6回全体会	「将来の川崎町の姿」～夢を深める編
1月12日	第6回議会	
2月1日	第7回全体会	「将来の川崎町の姿」～夢をビジョンに落とし込む編
2月15日	第7回議会	
2月23日 ～2月29日		児童・生徒アンケートの検討
2月23日 ～2月29日		児童・生徒アンケート調査
3月6日	第8回全体会	川崎の課題を発見する～合併後の7年間を振り返る

平成24年度

4月17日	第1回全体会	事業計画を描く1 ビジョン①～③
4月26日	第1回議会	
5月20日	第2回全体会	事業計画を描く2 ビジョン④～⑥
5月24日	第2回議会	
6月24日	第3回全体会	事業計画を描く3 ビジョン①～③
6月28日	第3回議会	
7月12日	第4回全体会	事業計画を描く4 ビジョン④～⑥
7月19日	第4回議会	
8月9日	第5回全体会	事業計画のまとめ
8月29日	第5回議会	
9月19日	第6回議会	まちづくりビジョン骨子の作成
9月26日	第6回全体会	
10月18日	第7回議会	骨子作成意見を踏まえて素案作成（前半）
10月24日	第7回全体会	
11月13日	第8回議会	骨子作成意見を踏まえて素案作成（後半）
11月19日	第8回全体会	
12月7日	第9回議会	最終確認及びアンケート調査票の検討
12月17日	第9回全体会	
12月25日 ～1月21日		住民アンケート調査
2月14日	第10回議会	アンケート結果における意見の反映
2月26日	第10回全体会	
3月7日	第11回議会	最終決定
3月13日	第11回全体会	





川崎まちづくり協議会

【事務局】

一関市立川崎公民館内

〒029-0202

岩手県一関市川崎町薄衣字諏訪前7-1

TEL : 0191-43-3112 FAX : 0191-43-3273

E-mail : kawako@city.ichinoseki.iwate.jp
